

報道関係各位

2018年9月18日

株式会社川島織物セルコン

明治150年 平成30年記念
『皇室とのゆかり 行啓とご即位のしつらえ』展 開催
会 場:川島織物文化館
会 期:2018年9月20日(木)~2019年10月18日(金)

株式会社川島織物セルコン(本社:京都市 社長:山口進)は、本社に併設の川島織物文化館(京都市左京区)で、明治150年・平成30年を記念し、『皇室とのゆかり 行啓とご即位のしつらえ』展を2018年9月20日から2019年10月18日まで開催します。

古くから皇室は伝統文化の継承に様々なかたちで寄与してきました。皇室行事の継承もそのひとつで、行事に纏わる装飾品は伝統技術の粋といえる品々で、織物も例外ではありません。この特別展では、来年の「退位の礼」・「即位の礼」を前に、大正天皇の即位礼に用いられた装飾織物の制作過程を展示します。



日像帽額試織裂「五彩瑞雲」

4年もの歳月を費やして準備が進められた大正天皇の即位礼に用いられた装飾織物は、どれも繊細で美しい織物ですが、なかでも、紫宸殿(ししんでん)南面の上長押(うわなげし)に掛けられた帽額(もこう)と呼ばれる幕は、幅が27.45mもあり大変優美で目を引く織物です。しかし、先例の記録がなく、デザインの考案や織機の使い方など、制作には様々な物語がありました。この様な制作の工夫や取り組みなどを紹介します。

また同時に、明治43年に皇太子(後の大正天皇)に行啓いただいた際の玉座も展示し、当時のおもてなしについても紹介します。

明治150年 平成30年記念
皇室とのゆかり 行啓とご即位のしつらえ

- 【会 期】2018年9月20日(木)~2019年10月18日(金) (予定)
- 【会 場】川島織物文化館 (<http://www.kawashimaselkon.co.jp/bunkakan/>)
- 【休 館 日】土・日・祝祭日、夏季、年末年始 (川島織物セルコン休業日)
- 【入 館 料】無料
- 【見学予約】見学は事前予約制 ご予約専用電話:075-741-4323

このリリースに関するお問い合わせ

株式会社川島織物セルコン			
報道関係の方から	広報担当	有賀・松本	TEL:075-741-4316
展示内容について	川島織物文化館	小柳(こやなぎ)	TEL:075-741-4120

※当リリースは、京都経済記者クラブにお届けし、当社ホームページ(<http://www.kawashimaselkon.co.jp/>)

LIXILホームページ(<http://www.lixil.co.jp/>)でも発表しています。

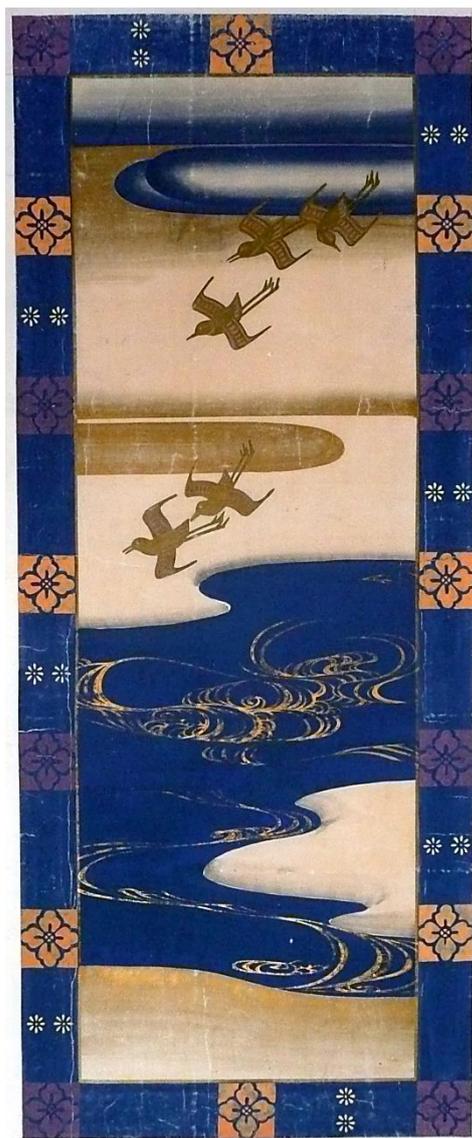
<参考資料>

■主な展示作品■

- ・大正・昭和即位礼 日像帽額試織裂「五彩瑞雲（ごさいずいうん）」
- ・明治43年 皇太子殿下（後の大正天皇）行啓時玉座
- ・7号御料車御座所 吹寄・仕切張地原画 「波に戯れる千鳥」（朝）



明治43年 皇太子殿下行啓時玉座



7号御料車御座所 仕切張地原画
「波に戯れる千鳥」（朝）

※会期中一部作品の展示替えを行います。（展示内容については事前にお問い合わせ下さい）

■川島織物文化館 概要■

1889(明治22)年に二代川島甚兵衛が京都・三条高倉に建てた三階建ての洋館「織物参考館」に始まる国内最古の企業博物館。初代・二代 川島甚兵衛がモノづくりの研究のため世界中から収集した染織品、古書類、製作してきた原画類・試織など、織物に関する貴重な資料を保管しています。

館内では、これらの史資料や当社が手がけてきたプロジェクトにまつわる資料やエピソードを紹介し、織物の魅力や当社のこだわりのモノづくりを紹介しています。



所在地：〒601-1192 京都市左京区静市市原町265 株式会社川島織物セルコン内

TEL：075-741-4120

開館時間：午前10時～午後4時30分（入館は午後4時まで）

休館日：土、日、祝祭日、夏季、
年末年始(川島織物セルコン休業日)

入館料：無料

見学予約：見学は事前予約制
ご予約専用TEL:075-741-4323

ホームページ:

<http://www.kawashimaselkon.co.jp/bunkakan/>

アクセス：●地下鉄「国際会館」駅より

- 京都バス(50/52系統)「小町寺」下車 徒歩約5分
- タクシー 約10分

●叡山電車 鞍馬線「市原」駅下車 徒歩約7分

●京都駅より タクシーで約40分

